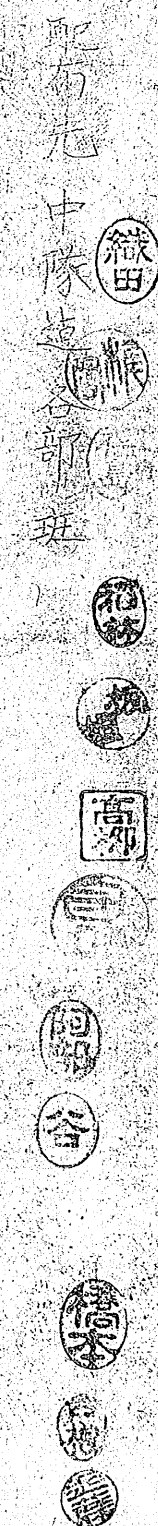


鐵道ニ無貨車スル者アリ注意シヨト
 公用證ヲ有スル戰隊及部隊長ノ證明(様式何シテモ可印アルモ)

之有スル團々半額ナリ
 配布先 中隊連 各部班



寫真撮影上ノ參考(寫) 昭一九九十四
 石部第一八三部隊

區分	法二令基ヲ禁止事項	訓令又ハ指
軍保護法	<p>1 軍保護法</p> <p>(一) 砲台又ハ砲泊地 (二) 軍用艦艇新空機軍部大臣所管飛行場軍需品貯藏所 (三) 其他軍事施設 (四) 防禦施設又ハ重要施設周圍地域(特ニ指定セラレタルモノ) (五) 加中又ハ高所ヨリノ撮影 (六) 夜間又ハ薄暮時分ニ在リテ表面ノ高サ三米以上ヲ禁止帝國領土全域 (七) 國防上ノ重要地附近 (八) 海岸線全部 (九) 軍機秘藏ニ關スルモノ全部 (十) 機密兵器資材ニ指定セラレタルモノ (十一) 彈藥庫其他軍需品集積場積込場 (十二) 其他軍機秘藏ニ關スルモノ (十三) 軍用航空機保護法</p> <p>2 軍用航空機保護法</p> <p>(一) 兵器生産工場軍需工場(生産能力判定資料トシテ設備) (二) 兵器以外軍用ニ供スル重要物資生産工場軍需工場 (三) 軍用航空機重要物資貯藏設備 (四) 軍用航空機重要物資貯藏施設 (五) 軍用航空機重要物資貯藏施設 (六) 軍用航空機重要物資貯藏施設 (七) 軍用航空機重要物資貯藏施設 (八) 軍用航空機重要物資貯藏施設 (九) 軍用航空機重要物資貯藏施設 (十) 軍用航空機重要物資貯藏施設</p> <p>3 重要地帶法</p> <p>(一) 重要地帶 (二) 重要地帶 (三) 重要地帶 (四) 重要地帶 (五) 重要地帶 (六) 重要地帶 (七) 重要地帶 (八) 重要地帶 (九) 重要地帶 (十) 重要地帶</p>	<p>1 工場事業場及貯藏施設關係 (一) 工場事業場及貯藏施設關係 (二) 電信電話施設關係 (三) 送電局及送電線關係 (四) 電信電話施設關係 (五) 海底電信機關係 (六) 電信電話施設關係 (七) 電信電話施設關係 (八) 電信電話施設關係 (九) 電信電話施設關係 (十) 電信電話施設關係</p> <p>2 鐵道關係(私設モノヲ除ク) (一) 鐵道關係(私設モノヲ除ク) (二) 鐵道關係(私設モノヲ除ク) (三) 鐵道關係(私設モノヲ除ク) (四) 鐵道關係(私設モノヲ除ク) (五) 鐵道關係(私設モノヲ除ク) (六) 鐵道關係(私設モノヲ除ク) (七) 鐵道關係(私設モノヲ除ク) (八) 鐵道關係(私設モノヲ除ク) (九) 鐵道關係(私設モノヲ除ク) (十) 鐵道關係(私設モノヲ除ク)</p> <p>3 其他重要建築物ニテ炸藥 (一) 其他重要建築物ニテ炸藥 (二) 其他重要建築物ニテ炸藥 (三) 其他重要建築物ニテ炸藥 (四) 其他重要建築物ニテ炸藥 (五) 其他重要建築物ニテ炸藥 (六) 其他重要建築物ニテ炸藥 (七) 其他重要建築物ニテ炸藥 (八) 其他重要建築物ニテ炸藥 (九) 其他重要建築物ニテ炸藥 (十) 其他重要建築物ニテ炸藥</p>
摘要	<p>寫真撮影可能ナル上欄各項ニ抵觸セザル範圍ノモノナリ</p>	<p>公表差控事項 一 全覽ヲ表ス 二 附近地形 三 相候ソテ 四 其位置ヲ容易ニ確定シ得ルモノ 五 航空標ノ目標 六 トナルハヤ高 七 表ハスモノ 八 謀略目標 九 トナルハヤ高 十 表ハスモノ 十一 謀報對象 十二 トナルハヤ高 十三 該施設ノ 十四 全能力ヲ 十五 推知得ル 十六 モノ</p>

二 基ノ禁止事項

<p>(六) 港灣關係 岩壁、棧橋、物置場、欄門、倉庫、土屋及び引込線、構造 揚荷装置 埠頭、埠スル野積地及鋪地</p>	<p>イ 全貌ヲ表スモノ ロ 配置表 ハ 廣サ表 スモノ</p>
<p>(七) 空襲時ニ於ケル敵航空機著明ナル標識トナル虞アルモノ 都市、大郡ヲ表シ又其一部ト雖モ附近ノ地形ト相俟ツ其都市ノ位置ヲ容易ニ判定シ得ルモノ 燈台 外海ニ面シタル岬ノ全貌ニシテ附近ノ地形ト相俟ツ其何レノ燈台ヲカヨ容易ニ判定シ得ルモノ 持徴アル岬ノ全貌ニシテ其ノ何レノ岬タルカヲ容易ニ判定シ得ルモノ 持徴アル鉄道線路ノ大觀ニシテ附近ノ地形ト相俟ツ其何レノ線ヲカヨ容易ニ判定シ得ルモノ 持徴アル島ノ全貌ニシテ其ノ何レノ島タルカヲ容易ニ判定シ得ルモノ (例) 沖繩縣村各島與又其ノ附近ノ各島等 (以上ニ掲グル指道對象ノ進捗ニ存在スル築造物タルタノ爆撃ヲ容易ナラシムル手引トナル虞アルモノノ全貌又ハ持徴ヲ表ハスモノ)</p>	<p>空中及高所ヨリノ寫眞 撮影</p>
<p>(八) 敵襲ノ際ニ於ケル敵兵器、毒藥、人物、敵ノ宣傳ニ連關セシル虞アルモノ 本軍記ナル狀況ヲ尙モシレル寫眞 日本軍ノ戰意ヲ失フニ感ヲ抱ケルモノ 公共施設ヲ破壊セルモノ 宣傳文書ヲ撮影セルモノ 勝存性ヲ感セラレルモノ (戦死傷者ノ寫眞等) (其他) 家庭紛議ノ因トナルモノ等</p>	<p>上記各々全 部</p>
<p>(九) 現像及焼付ハ部隊、酒保等ニ於テ行ラコトス 其ノ據リ難キ時ハ軍指定寫眞館ニヨルモノトス 二可也ノ判定困難ナルモノ憲兵ニ依頼檢閲セラレ度ク</p>	

第五四號

石兵團會報

九月十四日一八
 仲 間



一 原職檢事ノモノ有無ヲ調査ノ上十六日正午迄ニ報告ノコト

二 外出ニ關シテ如ク實施シコト

三 下士官兵ノ延刻外出ハ許可セザルコト

徵

(九) 敵殺除ニ於テ其ノ遺骸無番澤菜人物
(一〇) 敵宣傳ニ運用セシムルモノ

上記ニ合
可

。本軍ニ於テ其ノ遺骸ニ對シテ其ノ
。日本軍ノ戰意ヲ失フニ感テ抱カセラルモノ
。公共化ノ敵ヲ破壊セラルモノ
。宣傳文書ヲ撮影セラルモノ
。慘害性ヲ感ゼラルモノ
(一) 戦死傷者ノ慰具(等)
(二) 其、他
。家庭紛議、因テナルモノ等

備
一 現像及焼付ハ部隊、酒保等ニ於テ行ラ可トス
其トシテ據リ難キ時ハ軍指定慰具能ヨリモトス
考
二 可查ノ判定困難ナルモノハ憲兵ニ依頼檢閲ス度

第五四號

石兵團會報

九月十四日一八〇〇
仲 間

件一

織田

備

備

備

備

備

備

備

一 原職檢事ノモノ有無ヲ調査ノ上十六日正午迄ニ報告シヨト
二 外出ニ關シテ如ク實施シヨト
三 下官兵ノ延刻外出ハ許可セザルコト
四 旅團毎々其ノ防衛區域ヲ外出區域トシ外出日其ノ他適宜旅團ヲ
統制シヨト

直轄部隊ノ外出區域及外出日ハ別紙ノ如ク外出許可時期別ニ示ス
慰安所ノ價格ハ左ノ如ク暫定ス

一 時間
兵 四〇〇
將校 一五〇
下士官 五〇〇
將校 六〇〇
佐官 二〇〇
(本價格六十一割ノ稅ヲ含ム)

取取ノ當分間別致、爲切符制下ニ慰安婦一人ニ對シ兵二枚

下士官一枚 將校一枚 概定

各部隊ハ師團旅團ノ統制ノ許ニ外出ヲ許可スルコトヲ得

各部隊ニ於テ要修理兵器及部品材料ノ必要ヲ生ジタル場合機

ヲ失ヒ速カニ兵器部ニ電話等ヲ以テ連絡處置シ常ニ兵器

整備ノ完壁ヲ期スル如クメテ度

最近石第三五九部隊ニ於テ乘馬ノ騷擾ニ際シ乘馬者ノ佩刀

ヨリ刀身抜ケ落チ其ノ刀尖ヲ以テ乘馬ニ腸露脱ニ至ル傷害與ヘ

遂ニ斃死セシメタル事例アリ

本件ニ關シテハ兵團編成以來三件ノ前例アリ 自今乘馬セントスル帶

カ本分者ハ其ノ鯉口ノ故障有無ニ就キ特ニ注意セラレ度

五石第三五九六部隊ニ於テ過勞ニ基ク起立不能(腰疼)馬ヲ發生ス

馬數僅少ナルヲ以テ或ハ乗用トシ或ハ馱載輓曳等各般ノ用役ニ

之ヲ用フルハ止ムヲ得ザルモ此ノ際過勞ニ陥ラシメザル如ク特ニ注意セラレ度

六病馬廠ニ於テ目下飼養官理中ノ軍犬一頭昨十日不明繫鎖ヲ斷テ

切リ失踪セリ搜索中ナルモ不明ナリ

種類「セパ」止名前「ブル」毛色黒色 性牝犬 四肢 白

頸 白 胸先 白斑 華首輪 附ス 體格 中等ヨリ小ナリ

各部隊ニ於テ心當リノ向キアラバ連絡セラレ度

七石第三五九五部隊ニテ掩蔽壕構築中ニ砂崩壞依リ左

大腿骨折患者一名發生セリ 各隊ハ石兵團會報第五三號ノ注意ヲ

徹底嚴守スルト共ニ患者發生時ノ第一救護ニ遺漏ナキヲ期スルコト

救護ノ要領概ネ左記ノ如シ

各作業場ハ所要ノ救急材料(擔架 沃丁)等ヲ準備シアルコト

之創ハシ傷者ハ先ツ沃丁ニテ消毒シタル後 繃帶ヲ行フ

骨折ヲ伴フ傷者ハ先ツ前項ノ如ク繃帶ヲ施シタル後 骨折處

置ヲ行フ